

# 湖南省防災士連絡会 令和6年度 第3回幹事会議事録

## 1. 開催日時

令和6年12月4日（水）19：00～21：00

## 2. 開催場所

サンライフ甲西 2F 大ホール

## 3. 出席者

19名

## 4. 議事概要

### 4.1 会長挨拶

- ・本日の幹事会では、各委員会から活動報告の他に、各委員会・幹事会等の運営形態の見直しについて、拡大役員会や各委員会でも検討してきた内容についてまとめ、その見直し案を皆さまと検討したいと思いますので活発な議論をお願いします。

### 4.2 事業執行委員会からの報告

#### 4.2.1 スキルアップ委員会

##### (1) スキルアップ研修：訓練計画作成ワークショップ

「少しずつレベルアップしよう！ 防災訓練計画に係る事例発表・意見交換会」

開催日・場所：11月10日（日） サンライフ甲西

参加者：26名

開催後の委員会での意見等

- ・参加者が26名だったが、もう少し増えたらよかった。
- ・今村副委員長の司会がよく発表順が良かった。又参加者からよく意見が出て良かった。  
→今後も続けられたい
- ・先進地区の参加者が多く、参加してほしかった地区が少なく残念だった。
- ・清水会長より、報告会でも事例発表を行ってほしい旨の依頼があり、了承した。

##### (2) 委員会予算について

- ・前回の拡大役員会で了承を得たので、AEDトレーニングセット及び、胸骨圧迫トレーニング用人形の見積りを依頼中。但し、その運用方法は拡大役員会にて協議してもらうこととする。

##### (3) 来年度の事業計画の検討

スキルアップ事業として

- ① 普通救命講習の開催
- ② 事例発表、意見交換会の開催
- ③ 防災士が各区において、住民向けに啓発活動や講習会を行えるようにするための研修の開催

その他の事業として

- ④ 防災士が③を行うための資料（パワポ等）、及び自助啓発のための回覧用チラシ（A4一枚で種類別に）制作事業。又、各区の進捗状況（レベル3発令時等の対応）を一覧できる資料作成

##### (4) 防災士連絡会及び委員会の運営についての検討

- ・幹事は、各区1名必要。
- ・運営方法の案として、まち協単位から数名程度幹事会に出てもらい運営する。又、まち協割りや学区割の予算を計上してはどうか。
- ・但し、負担面を考慮し最低限何をやるべきか、の観点に立って体制を考えるべき。

#### 4.2.2 環境整備委員会

##### (1) 区の防災組織への防災士参画強化

朝国区の防災研修会での防災士活動支援

- ・開催日時：10月20日（日） 9時～10時30分
- ・参加者：朝国区民36名、危機管理・防災課2名、環境整備委員会4名
- ・研修内容：
  - ① 朝国区防災士による〇×クイズ（地震編）
  - ② 環境整備委員会による地震災害についての研修
- ・朝国区から36名の多くの参加があり、皆さんの参考になるとともに、来年以降の区内の自主活動の後押しが出来た。

##### (2) 防災士へのサポート

- ・地区での防災士活動の支援先を選定し、支援内容を協議する。
- ・一例として防災計画未作成の地区への作成サポートを地区の防災士と行い、地区防災計画の手助けを行う（今年度はどの地区で行うか検討）

##### (3) 防災士連絡会活動報告会の実施

- ① 開催日：令和7年2月2日（日）午前中（拡大役員会にて決定）
- ② 場所：サンライフ甲西2階大ホール
- ③ 各委員会活動の報告、その他の内容については12月の委員会にて決定する

#### 4.2.3 情報提供委員会

- ・9月に各学区の代表者（拡大役員会メンバー）宛てにライングループ作成状況を調査するためのアンケート（グーグルフォーム）を配信したが、再度12月2日に同じ内容のアンケートを発信した。このアンケートは、7学区の学区グループの役員の皆さまに学区内各区幹事へ転送していただくもの。
- ・12月4日時点で、アンケートの回答があった区は43区中21区であった。

#### 4.2.4 情報共有委員会

- ・前回の幹事会からの進捗はなし。

#### 4.3 各委員会・幹事会等の運営形態の検討

##### (1) 見直し案

令和6年度の総会において、前年度実施した各種アンケート結果から明らかになった課題の中で、各委員会・幹事会等の運営形態の見直しについて、拡大役員会や各委員会でも検討し、それらの内容を拡大役員会で以下の見直し案としてまとめた。

##### I 見直し検討のポイント

- (i) 現状の委員会・幹事会の出席率が低く（50～60%台）、委員・幹事が出席したいとのニーズとのずれがあると考えられる。
- (ii) 各委員・幹事の活動に対する負担感がある。
- (iii) 各事業（委員会活動）内容の目的を明確化することで、具体的事業計画を立案しやすくする。

##### II 幹事の選出について

- (i) 各43区より1名の幹事を選出する。
- (ii) 各幹事は現在構築中の区ライングループを活用し、連絡会からの情報を円滑に伝達出来るようにする。

##### III 委員会の見直しについて

現行の4つの委員会を新たに以下の4つの委員会に改め、より事業内容を明確化する。

- (i) **スキルアップ委員会**：防災士のスキル維持・アップのための講習会の企画・開催

##### 【事業項目】

- ・救急救命講習会（毎年実施）
- ・防災士の講習スキルアップ講習会（防災士自身が住民向けに講習を行うためのスキルアップ）

- ・応急手当方法講習会（上級救命講習）
- ・消防・防災機器取扱い講習会
- ・避難所設営講習会
- ・ハザードマップ作成講習会
- ・防災計画作成講習会

(ii) **調査委員会**：各地域の防災活動のばらつき平準化、防災士の意識向上を図るための調査・報告及び他自治体の防災士活動の状況把握

**【事業項目】**

- ・先進地視察
- ・各区における防災状況調査（例えば、高齢者等避難発令時の各区の対応等）
- ・防災士の意識調査
- ・防災士教本変更点調査

(iii) **情報委員会**：防災士および各区防災活動のための関連情報の収集・作成

**【事業項目】**

- ・内閣府等の防災資料の収集
- ・防災啓蒙のための資料作成（例えば、各区が回覧等で使用できる A4 一枚の啓蒙・啓発資料）
- ・共通文書の雛形作成（防災計画等）
- ・家庭用（自助）防災備品の情報作成

(iv) **広報委員会**：防災士および各区防災関係者への広報活動と広報手段の保守・向上検討

**【事業項目】**

- ・ホームページの保守
- ・LINE による広報（公式アカウント）
- ・各委員会活動の伝達（各ライングループ活用による）
- ・連絡会会報作成・配布

(v) 各委員会の委員は従来のように 43 区の幹事が約 10 名程度で構成する。

(vi) 各委員会は、各事業項目を参考に年間 1～2 の事業を執行する。

IV 幹事会について

(i) 幹事会は、これまでのような事業進捗報告を主とせず、各区の幹事が自分の区に持ち帰り、その活動に生かされるような内容とする。例えば、11/10 に開催した「防災訓練計画に係る事例発表・意見交換会」のようなテーマを絞っての事例発表・意見交換の場とする。

(ii) 幹事会は、現状の 2 ヶ月に 1 回（年 6 回）から、年数回に絞り開催する。

V 拡大役員会について

(i) 拡大役員会は、7 役員+各委員長の 11 名で構成し、各委員会の活動状況を共有し、予算の執行をはじめ、各委員会間の事業の連携を図っていく。

(ii) 7 つの学区から選出された役員は、各学区の幹事の代表として学区ライングループの代表者とし、また学区単位での防災イベント等を通して、学区内の防災士の組織的活動のとりまとめ役を果たす。

(2) 見直し案についての意見・要望等（文中の学区単位は 7 つのまち協単位を指す）

- ・各区の防災イベントの写真紹介や取材をして共有する事業があれば良い。
- ・学区単位の方が防災士は集まりやすいので「学区内の防災士の組織的な活動」を進めると良い。
- ・11/10 の「防災訓練計画に係る事例発表・意見交換会」の内容は良かったので、今後はまち協の防災関係者などにも声をかけると良い。
- ・委員会活動を少ない人数でやっていくには難しいと考えられるので、やはり 10 人程度の委員による委員会活動が望ましい。
- ・予算は各委員会に配分するのではなく、事業内容ごとに流動的に配分してはどうか。
- ・会報の発行はやめ、別の方法で広報活動を考えてはどうか。
- ・現役員・委員長を選ぶときに、幹事会に出席した人の中から抽選などで決めていた。欠席者が選ばれないというのは不公平である。
- ・次年度の役員・委員長を新幹事から選ぶときは、全員出席とし、選出方法を考え直すべき。
- ・一度に幹事を入れ替えるのではなく、半数ずつが交替出来るように、1 回だけ 1 年任期の幹事を設けるなどの工夫をしてはどうか。

- ・次の幹事が新しい4つの委員会に分かれて活動をはじめるとして、何をしたら良いか分からないと思うので、現状の4委員会それぞれ新委員会の活動計画案・予算案を提示してあげるべきではないか。
- ・現状の運営の仕方そのままでは来年度も同じように活動は低調のままとなるだろう。
- ・本来各区の幹事は地域に戻って地域の防災活動をやりたいのに、連絡会の委員会活動に引っ張られこれをこなす事で手いっぱい状況である。
- ・来年度は新しい4つの委員会で活動するとしても、将来的には7つの学区単位での幹事が集まり、学区内の防災活動に重点を置いていくといった方向性を打ち出してもらいたい。
- ・幹事会に学区幹事を決め、まずは備品管理など学区単位で持ち回るようにしてはどうか。

(3) 今回の幹事会での合意事項

- ① 各区より1名の幹事を選出する。
- ② 次年度は見直した新しい4つの委員会で活動する。
- ③ 防災士連絡会の将来的な方向性を打ち出す。
- ④ 次年度の新委員会の活動計画案・予算案の検討を現行の4委員会で提示することとし、引継ぎまでに作成し、次年度計画立案の参考にしてもらう。

各現行委員会は次の新委員会の提示案を作成することとする。

(現) スキルアップ委員会→(新) スキルアップ委員会、(現) 環境整備委員会→(新) 情報委員会

(現) 情報提供委員会→(新) 調査委員会、(現) 情報共有委員会→(新) 広報委員会

本日の幹事会で出された意見や上記①～④の内容については、次回拡大役員会(令和7年1月9日)でさらに協議する。

4.4 その他(危機管理・防災課より)

(1) 三雲小学校 防災に関する親子活動参画依頼について

・日時: 令和7年2月5日(水) 8:30~12:00

→事前の説明会に防災士連絡会からも参加し、参画の内容を協議する。

(2) 湖南省防災士連絡会幹事の推薦依頼文書について(区長宛)

・現幹事の任期が本年度末のため、新幹事を令和7年1月20日(月)までに推薦してもらう内容

→各区の幹事は自区防災士間で事前に話し合い区長に提案して欲しい。

【今後の予定】

- (1) 第7回拡大役員会: 令和7年1月9日(木) 19時~ (東庁舎3階第4会議室)
- (2) 第4回幹事会: 令和7年1月23日(木) 19時~ (サンライフ甲西2階大ホール)
- (3) 活動報告会: 令和7年2月2日(日) 10時~12時 (サンライフ甲西2階大ホール)
- (4) 新幹事会: 令和7年2月13日(木) 19時~ (サンライフ甲西2階大ホール)
- (5) 第8回拡大役員会: 令和7年3月 予定
- (6) 新旧役員・幹事引継ぎ、総会準備: 令和7年3月 予定

以上